

輸出事業計画

※申請者名：熊本県経済農業協同組合連合会、品目：かんしょ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

熊本県の農業産出額は全国第5位の3,407億円（令和2年）であるが、そのうちかんしょは約38億円（令和元年）を占めており、野菜では本県第6位の生産品目である。

【課題】

本県のかんしょ産地の規模は近年縮小しており、平成27年度の作付面積が1,070haだったものが、直近令和3年度では782haと6年間で約27%減少となっている。また、生産現場における基腐病の蔓延防止対策や、海外現地ニーズに対応した商品の安定供給に向けた取組が課題。

2. 輸出事業計画の取組内容

【生産・加工】の課題・取組内容

本県においても一部発生が確認されている基腐病については、産地全体・県をあげて蔓延防止対策を徹底する。具体的には、ウイルスフリーの苗の使用、植え付け前の苗及び土壌の消毒、出荷の際は基本的に段ボールを使用、コンテナの場合は、回収時に空コンテナを必ず洗浄して利用する等の対策を行う。

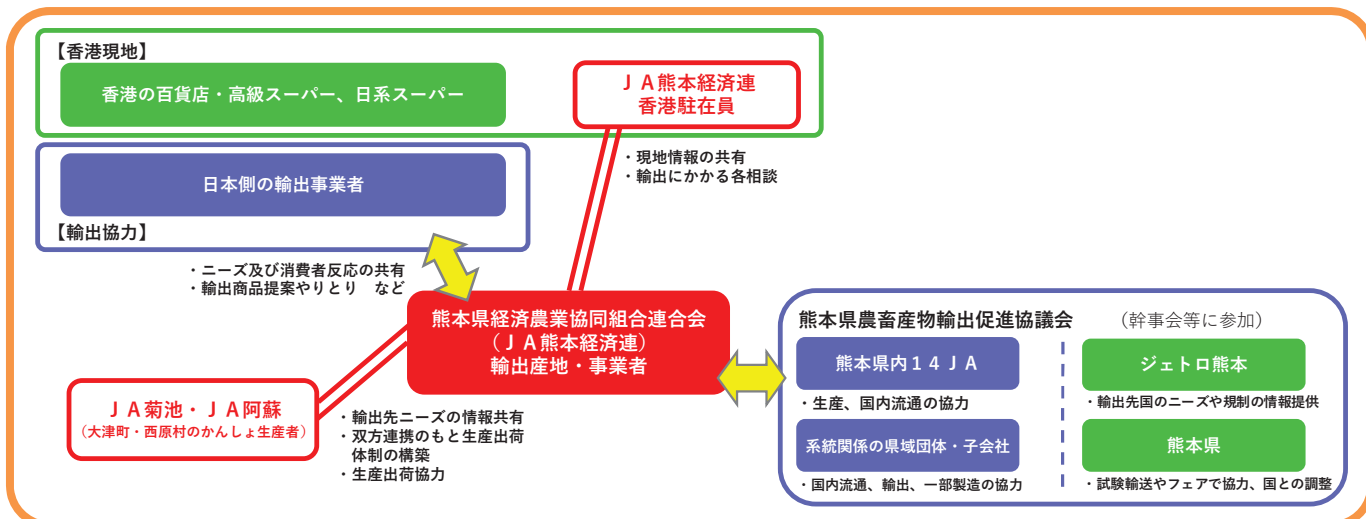
【流通】の課題・取組内容

国内ではM、Lサイズのニーズが高い一方、香港では2S、Sサイズのニーズが高いが、収穫作業の段階では細かい選別を行わないことが多いため、国内マーケットに安価に流出している実態がある。JA熊本経済連において安定した量を集荷・販売する年間計画を事前に立て、産地に対して泥付き・サイズ混合での買取を提案し、出荷ロットの拡大をはかる。

【販売】の課題・取組内容

関係機関と連携しながら、現地フェア・オンライン商談会等のプロモーション活動を行うとともに、輸出先国ニーズの把握及び課題について情報共有を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

品目：かんしょ	令和2年度（輸出先国）	令和6年度（輸出先国）
JA阿蘇（西原村）	6,400,510円（香港）	7,168,571円（香港）
JA菊池（大津町）	6,233,600円（香港）	6,981,632円（香港）